乳腺・内分泌外科プログラム

【研修目標、到達目標】

本研修の目標は、知識と技術に裏付けられた「人間性豊かな、優れた医療人の育成」に沿って乳腺外科を専門とする医師を育成する事です。到達目標は、乳腺専門医取得に必要となる日本外科学会専門医の修得です。同時に将来の乳腺専門医取得に向けた症例も経験します。当施設は乳癌学会の認定施設であり、乳腺専門医を取得するのに必要な実績を積むことが可能です。卒後３年から５年の間は大学病院あるいは乳癌症例の多い関連施設（乳癌学会認定施設）にて研修しますが、具体的なコースは本人の希望も考慮します。卒後５年で外科専門医、８年で乳腺専門医の取得を目標とします。なお、後期研修期間において大学院への入学も奨励します。

【研修カリキュラム】

後期研修３年目以降は、日本外科学会専門医、乳腺専門医取得に必要な症例を経験するため、以下の研修プログラムに従って履修を行います。

３年目：初期臨床研修２年終了後、兵庫医科大学病院所属のレジデントとなります。乳腺・内分泌外科にて、診断、処置、手術、薬物療法の実施に必要な、基本的な知識ならびに手技の習得を行います。

４年目：兵庫医科大学病院あるいは関連施設において、乳腺外科、ならびに一般外科の必要症例を経験します。

５年目：兵庫医科大学病院あるいは関連病院いずれかにおいて、乳腺に特化した研修を行います。具体的には検査ならびに診断を担当し、また術者として手術を行い、必要症例数を経験します。

関連病院での研修には、手術手技の習得だけでなく、薬物療法を専門に扱う機関での研修も可能です。

【卒後３年目の他部署研修について】

総合診療能力のスキルアップや外科専門医取得に必要な症例数を経験するため、呼吸器外科、心臓血管外科、上部消化管外科、下部消化管外科、病院病理部、放射線医療センターなどで、希望により研修を行うことができます。

【カンファレンス、症例検討会等】

症例検討会、抄読会、回診を定期的に行っています。又、病理部、放射線科との合同カンファレンス、関西労災病院との合同カンファレンスも定期的に開催しています。

【その他研修要件、関係学会の内容等】

外科専門医修得のためには、研修に際して日本外科学会への入会および修練開始登録が必要です。ただし、初期研修満了後６ヶ月以内に修練開始登録した場合、研修開始まで遡って登録できます。また乳腺専門医取得には５年間以上日本乳癌学会に在籍することが必要なため、乳癌学会にも入会

します。学会発表や論文の作成を行い、専門医取得に必要な業績を積みます。

【関連病院】

大阪府立成人病センター、市立伊丹病院、関西労災病院、宝塚市立病院、県立西宮病院、西宮市立中央病院、近畿中央病院、八尾市立病院、神戸百年記念病院、神戸アドベンチスト病院など

【指導医】

指導責任者

外科　乳腺・内分泌外科　教授：三好　康雄（日本外科学会指導医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本がん治療医認定機構・暫定指導医）

【研修統括者】

教授：三好康雄

【問い合わせ先】

外科医局

TEL：0798-45-6374

FAX：0798-45-6373

E-mail: ymiyoshi@hyo-med.ac.jp